

平成18年8月3日

東洋エンジニアリング株式会社

カタールGTL向けリキッドプロセッシングユニットを日韓のエンジ企業連合にて受注

東洋エンジニアリング株式会社(TEC、取締役社長 山田 豊)は、韓国現代建設と共同で、カタールシェルGTL社から、日量14万バレルのリキッドプロセッシングユニットを受注いたしました。本ユニットは、カタールで産出される天然ガスを原料として石油製品を生産するPearl GTLプロジェクトを構成するユニットで、合成油を水素化分解し、高品質な軽油および潤滑油基材等を生産する設備です。

TECと現代建設は、基本設計以降のEPC業務を一括請負で実施し、プラントの完成は2010年を予定しています。TECは、企業連合のリーダーとして基本設計、主要機器調達、コミッショニングを、現代建設は、詳細設計、主要機器以外の機器及びバルク材料調達、建設工事を担当します。

TECは、今後、需要が増加するものとみられるGTL分野に積極的に参画してまいります。

<受注概要>

客先：カタールシェルGTL社(Qatar Shell GTL Limited)

受注者：TECと韓国の現代建設

対象設備：日産140,000BPD リキッドプロセッシングユニット

建設地：カタール ラス・ラファン

役務内容：設計、機器資材の調達および工事、試運転助成までの一括請負

プラント完成予想時期：2010年

受注の意義：

- * 本設備は世界初の大型GTLプロジェクトの主要ユニットであり、今後需要の増加が望まれるGTL分野への参入を果たした。
- * カタールでは、1996年のQatar Liquefied Gas Company Ltd.社向けガス処理設備以来、10年ぶりの受注である。
- * 韓国の有力エンジニアリング会社である現代建設と共同して受注を果たした。

以上